

第 8 8 回

2015 3 / 16 月 18:00 - 19:00

ゲノム情報処理技術の戦略と戦術 : IT系研究者を256倍使う方法

未 来

大阪大学医学部講義棟 E 講堂

医 療

主催：未来医療交流会

共催：大阪大学大学院医学系研究科

後援：文部科学省橋渡し研究加速ネットワークプログラム
大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」
厚生労働省早期・探索的臨床試験拠点整備事業
大阪大学医学部附属病院未来医療センター
大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

セ ミ ナ ー



中谷 明弘

大阪大学大学院医学系研究科

ゲノム情報学共同研究講座 特任教授

高性能シーケンサや高密度プローブアレイによるゲノム情報は多様な解析戦略の可能性を示しています。しかしながら、これらの機器が出力する生データは、「解析パイプライン」による一連の情報処理を経て初めて解析用データとして使える状態になります。引き続き解析も定型化や自動化は必ずしもされておらず、多くの場合は職人的な手作業が必要となっており、目的の結果になかなか辿り着けない「越えられない壁」が存在するのも現状です。我々は、イルミナ社製シーケンサによる全エクソン解析向け解析パイプラインの構築を共同研究実習センターと進めています。この大量データ処理のためのITインフラを、その先の個別解析のための手法開発とも関連させて紹介します。IT系の人間が何を如何に考えるのかを含め、設備やソフトウェアといったモノのレベルを越えた情報共有に向けた一歩になれば幸いです。

(※情報科学系の専門知識は不要です)